

法海寺特集号

第 7 3 号
平成26年1月15日発行 八幡コミュニティ
責任者 早川義一 TEL 32-0144
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理本部

やわたコミュニティ

1300有余年の歴史を刻み
八幡地区の発展と所願万般を
祈願する全住民の祈願寺

天智天皇勅願所
日本三薬師ノ一
薬王山法海寺



本堂正面軒下
に寺号掲出に

天台座主大僧正 山田恵諦 書 (平成四年八月)

平成四年本堂建立の折に「法海寺」の額を揮毫してくださいました山田恵諦座主親下は、バチカンのパウロ二世教皇ともご昵懇の間柄で、世界平和の祈りを比叡山で始められた世界の宗教家でごいました。私も若き日にご指導賜りましたご縁を心の支えとし、祈願させていただきます。

(難読文言は四頁参照)

明けましておめでとうございませう。昨年は待望の護摩堂建立の御浄財を賜り、厚く御礼申し上げます。今年の年末にはさぞかし立派なお堂が完成するものと、ありがたく思っております。御祈願を一心に念力を込めて修法させていただきます。



法海寺住職
立松圓浄

後列右から 前列右から
加古正彦 早川清逸
後藤洋三 加藤高三
石濱祥一 大乗院住職
田原進 菊地円能
加古敬二 法海寺住職
稲葉芳幸 立松圓浄
神谷雍彦 早川壽正
浅井昭三 山本雅敏
山口洋平
村瀬修三



法海寺の行事一切を
取り仕切る
住職・総代・連絡員
のみなさん
(平成二十五年度)

法海寺に関連した歴史年表

500	600	大和	700	奈良	神護景雲元年	800	平	安	900		
538 宣化3 仏教公伝	607 推古15 聖徳太子、法隆寺を創建	668 天智7 法海寺創建	712 和銅5	720 養老4 「日本書紀」舎人親王らにより撰上 「古事記」太安万呂により撰上	767 天台宗の開祖「最澄」誕生	788 延暦7 「最澄」比叡山に一乗止観院を造立	804 延暦23 「最澄」遣唐使として唐へ渡り、	805 延暦24 「最澄」日本天台宗開宗 中国天台宗の奥義を修める	822 弘仁13 「最澄」没（五六歳）、	823 弘仁14 比叡山の一乗止観院を勅賜により 比叡山大乗戒壇許可	三重塔心跡(年代不詳)

「熱田神宮の酔笑人神事」

平成25年5月5日 中日新聞

のユニークな「酔笑人神事」の夜、市熱田へ通風筒

れた写真消した真つ暗に、神職土に、五百人

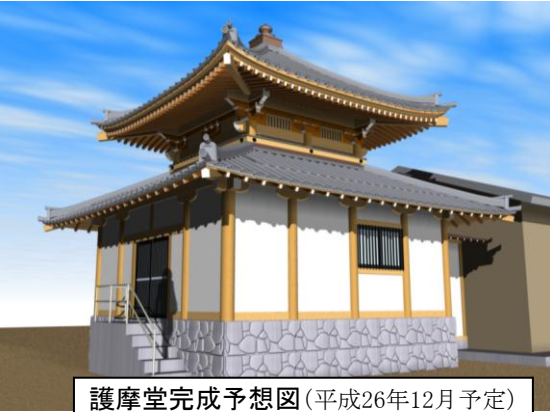
り、五百人







法海寺では恒例の「越年行事」として大晦日に「除夜の鐘」と「護摩法」を修し皆様の一年間の罪や汚れを払い、新しい希望に満ちた年をお迎えに成られますようお祈り致します。この時の「護摩木」の勧募を行っていますので、皆様のご厚志をお願い申し上げます。



護摩堂完成予想図（平成26年12月予定）

「熱田神宮の酔笑人神事」平成25年5月5日 中日新聞

市熱田区の熱とも言われ、横笛の合田神宮で四日図で、全員が「オホホ」のユニークな祭りなぞ暗闇が。厳粛な存「酔笑人神事」が行われ、在の神職は日中、幽をれた写真。明かりを見せたいでできない、消した真つ暗闇の境内ため、闇夜に紛れるに、神職十人の高うとを望んだとか。「爆り、五百人の参拝客を笑は他に類を見ない。

◆「名古屋」◆「オホホマツリ」

◆「祭りの由来は六八六年にさかのぼる。神宮の三神体で三種の神器の一つ「草薙の神剣」が盗まれ、二十年ぶりに神宮に帰還した時、神職が大いに喜び祝った故事が今に伝わっている。

安土・桃山	前期	江	戸	明治	大正	昭和	平成
1600	1700	1800	1900	2000	2010	2020	2030

1666 寛文6 仁王門・仁王像造立	1669 寛文9 仁王門、木鼻・大斗に墨書	1730 享保15 仁王門、東妻面の肘木に墨書	1822 文政5 仁王門、巻斗・大斗に墨書	1889 明治22 内務省から金百圓御下賜	1926 大正15 仁王門屋根葺替修繕 本堂屋根葺替大修理	1957 昭和32 仁王像大修理	1975 昭和50 山門修理	1987 昭和62 山門破風軒瓦攸 本堂屋根互修理	1992 平成4 本堂修復	2010 平成22 仁王門・仁王尊像修復	2014 平成26 護摩堂建立
--------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	------------------------	----------------------	------------------------------------	---------------------	----------------------------	-----------------------

「薬王山法海寺略縁起」
本堂正面右手の案内表示板に下図内容が記されている

薬王山法海寺略縁起

「寺本（八幡）のオヤクッサン」と呼ばれ皆様に尊び親しまれている薬王山法海寺は、薬師如来を御本尊に祀り、現世利益を祈願する天台宗の古刹であり、日本三薬師「奈良法隆寺（一説には、信州諏訪大社本地仏）、三河鳳来寺及び寺本法海寺」の一つとされている。

法海寺の開基は、新羅国明信王の太子の道行法師といわれ、由緒は「日本書紀」卷二七の天智天皇七年の条につながっている。そこには、「沙門道行、草薙劔を盗みて新羅に逃げ向く、而して中路に雨風にあって、荒迷ひて歸る」と道行の名前が登場している。後世に編纂された寺伝の「薬王山法海寺儀軌」によれば、この後、この沙門道行は帰国を断念し当地に堂宇をいとなんでいた。そして、天智天皇の御不例を当山御本尊に祈願して平癒した功によって、「薬王山法海寺」の勅額と寺田二八〇町歩を賜った。

時に、天智七（六六八）年、八月三日の創建とされ、以降、淳和天皇に至る十三代の勅願寺として堂宇壮観、内外十二院があったと伝えられている。千三百有余年の歴史を裏付ける有力な事象が、その信憑性を物語っている。

草薙劔の行方
盗難後宮中に保管されていたが、天武天皇朱鳥元（六八六）年に熱田の宮に返還、このときの祭事が「酔笑人神事」として現在も伝承

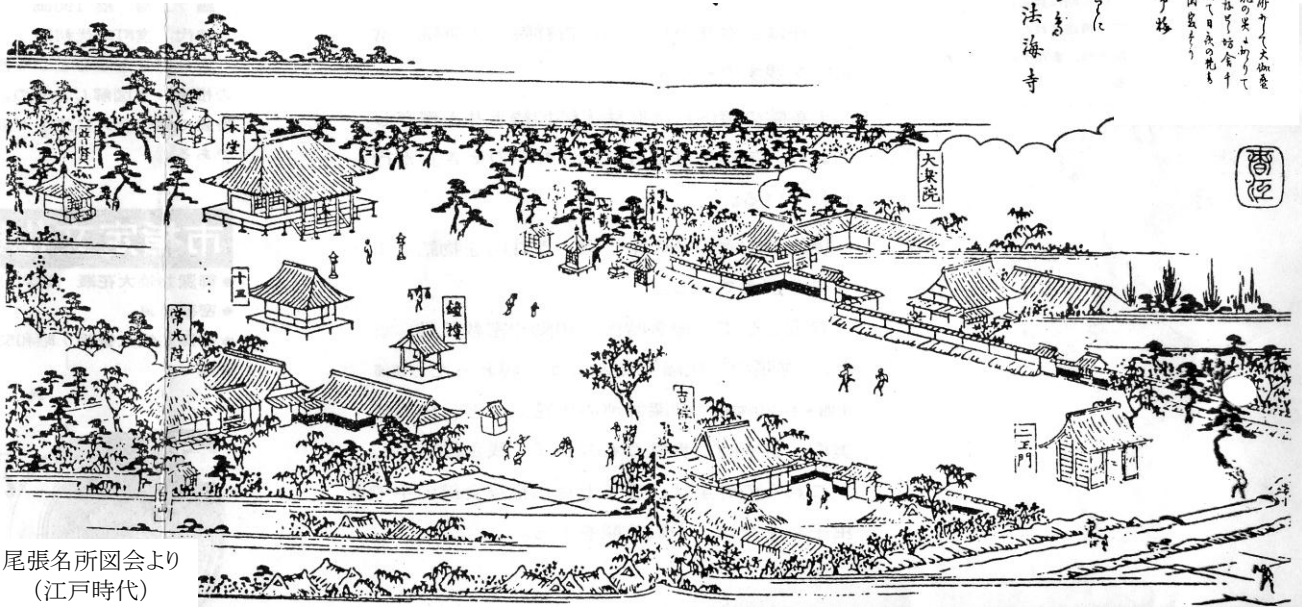
時代考証
白鳳期の蓮華文瓦が境内から出土
二千年以上昔の仰臥伸展葬の人骨三体を境内から発掘

寺宝文化財
平安・鎌倉・室町期などの県・市指定文化財十四点保有
仁王門、毘沙門天像を除いて、知多市歴史民俗博物館に寄託

年中行事
修正会（一月三日）、薬師大祭（十一月八日）
除夜薬師大護摩（十二月三十一）が古式に則り伝承

郷土の貴重な文化遺産を保護し後世へ継承するため、現在の本堂は平成四年に再建、仁王門と仁王尊像は平成二十二年に、全面的に解体したのち修復復元された。

平成十四年 本堂再建十周年記念之建
平成二十二年 知多市制四十周年記念之改



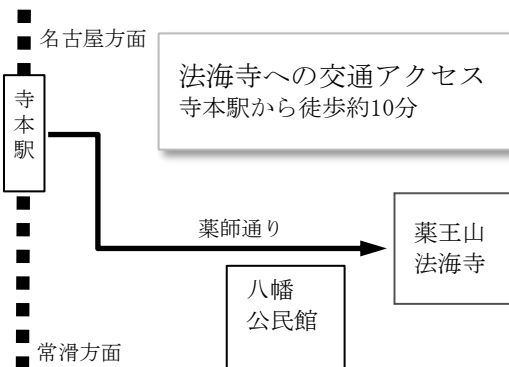
尾張名所図会より（江戸時代）



本 堂



仁王尊像



仁王門(知多市文化財)



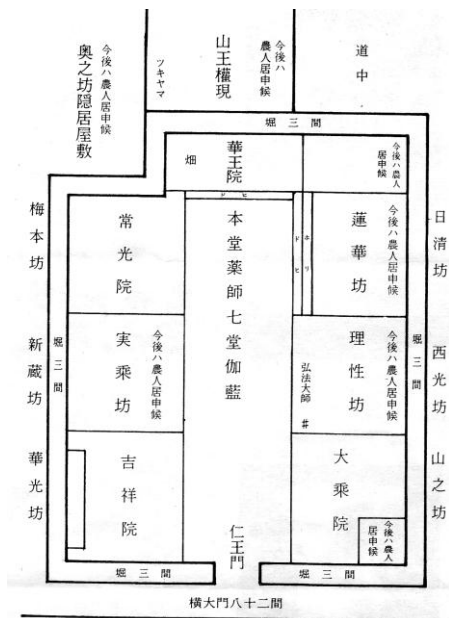
仁王門をいって本堂を望む参道脇には、
樹齡數百年の楠木四本が鬱蒼と繁っている



境内には鐘樓をはじめ法善堂、
藏、十王堂、庚申堂、愛染堂
がある



護摩堂(ごまどう) 揮毫(きごう)
山田恵諦座主 祝下(やまだえたい) ざす げい
か)



創建当時の法海寺全容

天災人悟

「Q」
非常時に、避難所の運営を円滑にするには、どのような訓練が必要ですか？

避難所運営ゲーム「HUG」が有効である

とあると思われたので、八幡コミュニティの自主防災会正副会長を対象に研修会を実施いたしました。要点は次の通りです。
◆避難所を開設したとき収容対象者を適切に仕分ける。

大災害では、負傷者・病人・老人・外国人などさまざまな大勢の人が避難してきます。この人たちに、限られた施設を速やかに配分しなければなりません。
今回の研修では大災害の発生を想定した机上演習により、避難住民への対処方法を学習することができ、八幡地区内の共通認識を持つリーダーの育成ができました。

「この記事への意見等の連絡先」

八幡コミュニティ
防災部会長 平松鋼一